

主な出来事

【内政】

●3月10日、アディルソン・ガブリエル・アルヴェス・カタラ氏が運輸副大臣(空運・海運・港運担当)に就任し、ローザ・マリア・マルティンス・ダ・クルス・イ・シルヴァ氏が2027年に横浜で開催される国際園芸博覧会「GREEN × EXPO 2027」のアンゴラ政府代表に就任した。

【外交】

●3月2日、アンゴラ大統領府は、中東地域における紛争の激化により影響を受けている人々に深い連帯の意を表し、緊張緩和の必要性、並びに国際法及び国連憲章の遵守を強調する旨の声明を発表した。

●3月18日、アンゴラと中国との定期的な外交対話の一環として、アントニオ外務大臣は、ルアンダにて、張斌・駐アンゴラ中国大使と会談。

●3月19日、アンゴラを公式訪問したボコ・ボツワナ大統領とロウレンソ大統領との首脳会談が行われ、農業、石油・ガス、エネルギー、畜産、投資の相互保護などを対象とした17件の協力協定について協議された。

●3月29日、ロウレンソ大統領は、赤道ギニアにて行われたOEACP(アフリカ・カリブ海・太平洋諸国機構)首脳会議において、OEACP議長としての3年間の任期を総括する演説を行った。

【日アンゴラ関係】

●3月11-16日、日本大使館は、日・アンゴラ外交関係樹立50周年記念事業の一環として、外池茂樹・外池酒造社長を講師として招聘し、公邸での講演会、当地日本料理店及びスーパーマーケットでのイベントを通じ、日本酒造りの背景にある日本文化を発信した。

【経済】

●3月17日、バホーゾ鉱物資源・石油・ガス副大臣は、カビンダ製油所が、技術的・運営上の調整の最終段階にあり、燃料の商業生産開始に近づいている旨発表した。

* 本月報は当地主要紙 Jornal de Angola 紙を中心に、月末現在の報道などの公開情報を大使館で取りまとめたものです。

内政

1. アンゴラ政府の新副大臣等の幹部任命

3月10日、アディルソン・ガブリエル・アルヴェス・カタラ氏(元バツハ・ド・ダンテ開発会社取締役会長)が、新たに運輸副大臣(空運・海運・港運担当)に任命された。また、ローザ・マリア・マルティンス・ダ・クルス・イ・シルヴァ氏(元文化大臣)が2027年

に横浜で開催される国際園芸博覧会「GREEN × EXPO 2027」のアンゴラ政府総代表に任命された。

2. 新検察庁長官が就任

3月18日、ロウレンソ大統領は大統領令に基づき、検察庁司法最高評議会の本会議を経てペドロ・メンデス・デ・カルヴァーリョ氏を新検察庁長官に任命した。

3. 地球観測衛星のプロジェクト始動

オリヴェイラ通信・情報技術・マスコミュニケーション大臣を含むアンゴラ代表团は、フランスにあるエアバス・ディフェンス・アンド・スペース(エアバスの子会社)にて、地球観測に特化した初の国産衛星 ANGeo-1 の製造・打ち上げプロジェクトの始動を宣言。

4. 政党の動き

3月13日、UNITAは、創立60周年の一環としてウアンボ州で開催された政治集会で、2027年総選挙で党を勝利へと導くことができるよう、党员たちに呼びかけた。同党のアポロ・ヤクヴェラ州書記長は、UNITAがアンゴラ国民を苦しめる諸問題の解決策を提示すると党员に約束し、それゆえに政権交代が必要であると訴えた。

3月30日、MPLAカビンダ支部のスザナ・デアブレウ第一書記は、タンド・ジンゼにおいて党员に対し、党の設立から国内での政治的地位の確立に至るまでの役割について改めて強調した。同氏は、同党はそのルーツを国民の力に置き、アンゴラの歴史と発展の中心的な主役であることを強調した。

外交

1. 中東の紛争について懸念を表明

3月2日、アンゴラ大統領府は、中東地域における紛争の激化により影響を受けている人々に深い連帯の意を表し、緊張緩和の必要性、並びに国際法及び国連憲章の遵守を強調する声明を発表した。当局は、声明の中で、全ての当事者に対し、対話を優先し、敵対行為を直ちに停止し、地域の平和と安定を促進するよう強く求めた。

2. 米国との対話

3月2日、カゾー駐アンゴラ米臨時代理大使は、ロウレンソ大統領表敬後、米国は、地域における

アンゴラの指導的役割を改めて評価する旨述べた。

3. ポルトガル大統領就任式に出席

3月9日、ロウレンソ大統領は、カーボベルデ、モザンビーク、サントメ・プリンシペ、東ティモールといった CPLP 諸国の首脳らと共に、ポルトガル大統領就任式に出席した。ロウレンソ大統領は、新大統領の勝利を祝賀し、ポルトガル国民が国際社会におけるポルトガルの役割を示すために「確実な選択」をしたと強調した。

4. 三カ国協定に署名

3月13日、アンゴラ、コンゴ(民)、南アフリカの三カ国は、プレトリア(南ア)において、政治、外交、経済分野における協力を強化することを目的とした法的文書に署名した。同協定は、三カ国間の戦略的パートナーシップを強化し、共通の関心事項に関する連携を促進することを目的とした三カ国対話・協力メカニズムを設立するものである。

5. ベトナム首相との電話会談

3月17日、ロウレンソ大統領はベトナムのファム・ミン・チン首相と電話会談を行い、両国間の様々な分野における関係強化につき協議した。

6. 中国との定期的な外交対話

3月18日、アンゴラと中国との定期的な外交対話の一環として、テテ・アントニオ外務大臣は、張斌・駐アンゴラ中国大使と会談した。会談では、両国間の二国間協力の全体像が検討され、特に政治・外交、経済、貿易の各分野における協力の深化と多様化に焦点が当てられた。

7. ボツワナ大統領のアンゴラ訪問

3月19-20日、ドゥマ・ボコ/ボツワナ大統領がアンゴラを公式訪問し、ロウレンソ大統領との首脳会談等を実施した。会談では、今後署名され得る農業、石油・ガス、エネルギー、畜産、投資の相互保

護などを対象とした 17 件の協力協定について協議された。

8. 大統領、米俳優ウィル・スミス氏と会見

3 月 26 日、ロウレンソ大統領は、米国の俳優兼プロデューサー、ミュージシャンのウィル・スミス氏と会見した。同氏は、アンゴラへの再訪への関心を示し、特に『バッド・ボーイズ』に関連する次回作において、映画やドラマのシーンを撮影する可能性にも言及した。

9. OEACP 議長としての 3 年間の任期を総括

3 月 29 日、ロウレンソ大統領は、赤道ギニアの首都マラボにて、OEACP（アフリカ・カリブ海・太平洋諸国機構）議長としての 3 年間の任期を総括する演説を行った。任期において EU（欧州連合）との戦略的パートナーシップを刷新・深化させることに成功したと述べ、輪番議長職を赤道ギニアのテオドロ・ンゲマ大統領に引き継ぐことについて、信頼を持っていると強調した。

日アンゴラ関係

1. 日本酒を通じた日・アンゴラ文化交流の実施

3 月 11-16 日、日本大使館は、日・アンゴラ外交関係樹立 50 周年記念行事の一環として、栃木県益子町の外池酒造店社長・外池茂樹氏を講師として招聘し、日本酒を通じた日本文化発信事業を実施した。同氏は、講演会や当地日本料理店及びスーパーマーケットと協力したイベントを通じ、日本酒文化の背景にある発酵、自然との調和、ものづくり精神や日本の地域社会を紹介し、幅広い層に日本文化の魅力を発信した。当地では、本件を両国の友好関係 50 周年記念行事の一環として、民間セクターを通じた両国間関係の強化に資する取り組みとして報道された。

2. アンゴラ的美術展が日本で開幕

3 月 17 日、世田谷区にて、在日アンゴラ大使館当の主催により、外交関係樹立 50 周年を記念し

た写真展が開幕した。3 月 25 日まで一般公開された本展では、アンゴラの文化的豊かさ、観光ポテンシャル、発展の様子に加え、二国間の外交協力における重要な瞬間を捉えた、多様な芸術作品や写真記録が展示された。

経済

1. 国際観光見本市（独）で「親しみやすい観光地」として紹介される

3 月 7 日、国際観光見本市の一つである Internationale Tourismus-Börse (ITB) において、アンゴラは、楽園のようなビーチ、サファリ、独特な砂漠、そして雄大なカランデュラ滝といった手つかずの自然が残るワイルドで親しみやすい観光地として紹介された。同国は、同見本市の中で、自然と文化を守りつつ、観光セクターを経済の柱とするための計画を提示した。

2. カビンダ製油所、燃料の商業生産へ準備

3 月 17 日、バホーゾ鉱物資源・石油・ガス副大臣は、カビンダ製油所が、技術的・運営上の調整の最終段階にあり、燃料の商業生産開始に近づいていると発表した。現在、同製油所は 1 日あたり 3 万バレルの処理を行っており、国内市場向けのディーゼル燃料生産を主眼としている。長期的な目標は、処理能力を 1 日あたり 6 万バレルに引き上げることであるとした。

3. ガスの輸出額が総輸出の 11%を占める

3 月 20 日、アンゴラ中央銀行 (BNA) は、2025 年に同国が過去最高のガス輸出量を記録したと発表した。ガスによる収益が 3 年連続ダイヤモンドを上回り、原油に次ぐ同国第 2 位の輸出品となっている。総輸出額 305 億 6,000 万米ドルのうち、ガス輸出の総収入は 32 億 5,000 万米ドルとなり、占める割合は 11%へと上昇した (2024 年時 7%)。

4. 2 月のインフレ率

国家統計局(INE)によると、2 月のインフレ率は
13.35%となり、前月比 1.21 ポイント、前年同月比
11.91 ポイント低下した。

(了)